

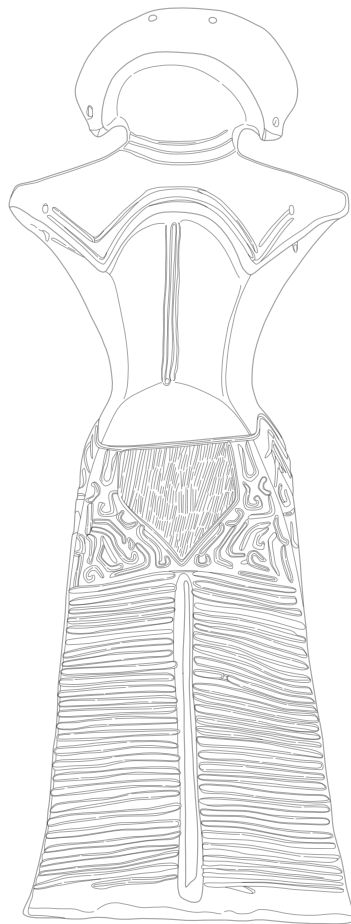
ISSN1341-397X

# 年 報

令和3年度

令和4年5月

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター



## 序

山形県埋蔵文化財センターは、平成5年に財団法人として創設以来、また平成24年からは公益財団法人として、関係諸機関の御支援・御協力をいただきながら取り組みを進めてまいりました。本年度における当センターの事業につきましては、計画した事業のすべてについて円滑に実施することができました。その概要について申し上げますと、はじめに、調査事業においては、3遺跡3件の発掘調査と延べ5遺跡の報告書作成のための整理作業を実施し、2冊の発掘調査報告書を刊行いたしました。本県における近年の発掘調査の傾向は、県公共事業の減少が引き続き見られ、国による新直轄事業の高速交通網整備に伴う事業もピークを過ぎたことから、現在進められつつある高速道路の県境部分の整備やこれからの県の公共事業等の事業量を的確に把握しつつ、調査体制の整備に努めていかなければなりません。今後とも、責任ある発掘調査を基本とした調査研究に取り組んでまいります。

次に、普及啓発事業につきましては、今年度から山形県の委託を受け、『出前授業』や『市町村巡回展示』『発掘作業体験』『遺跡体感ツアーリズム』などの事業を実施してまいりました。昨年度から続く新型コロナウイルス感染が終息しない中ではありましたが、感染防止対策を充分に取り、多くの県民から御参加をいただきました。また、SNSやホームページによる情報発信、発掘調査遺跡の調査成果一般公開、発掘調査速報会などを通して、埋蔵文化財の調査研究の成果を県民の皆様にお知らせしてまいりました。今後とも埋蔵文化財保護の重要性の周知や、埋蔵文化財を通して古代の人との心の交流の場を県民の皆さんに提供するという基本姿勢を以て、今できることを工夫して普及啓発事業を推進してまいります。

山形県埋蔵文化財センターでは、これからも「公益」という言葉の重みを職員一人ひとりが胸に刻み、次世代を担う子供達に地域の伝統文化の大切さを伝えるため、あるいは誇りと自信の持てる地域づくりの一助とするため、さまざまな機会を活用して、県民共有の文化遺産としての価値ある埋蔵文化財を後世に伝えていけるよう、職員一同、一層研鑽を重ねていく所存であります。

令和4年3月31日

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター  
理事長 齋藤直樹

# 目次

## I. 管理運営概要

1. 沿革	1
2. 組織	
(1) 役員及び評議員	1
(2) 職制及び人員	2
(3) 組織	2
(4) 職員	3
3. 施設	4

## II. 業務概要

1. 調査業務	5
(1) 調査遺跡一覧	6
(2) 調査遺跡の概要	
杉沢C遺跡 第2次	8
水林下遺跡 第2次	12
山形城三の丸跡 第22次	16
上曽根遺跡	18
川前2遺跡	19
2. 普及・啓発・研究等業務	
(1) 研修等	20
(2) 普及啓発	
①センター公開事業	20
②発掘調査速報会	21
③市町村巡回展示会	21
④出前授業	22
⑤体験学習会	23
⑥遺跡体感ツアーリズム	23
⑦出土品貸出等	24
⑧資料掲載許可	24
⑨来所者	25
⑩調査成果一般公開	26
⑪職員派遣等	26
⑫研究紀要	27
⑬出版物	27
⑭ホームページ	27
⑮SNS情報発信	27
(3) 情報処理	
収蔵図書データベース	27